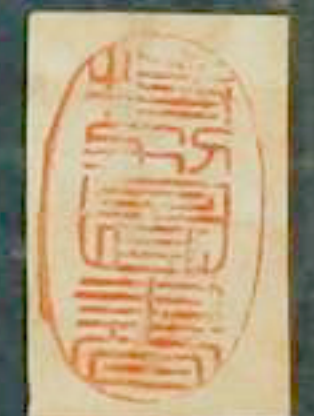
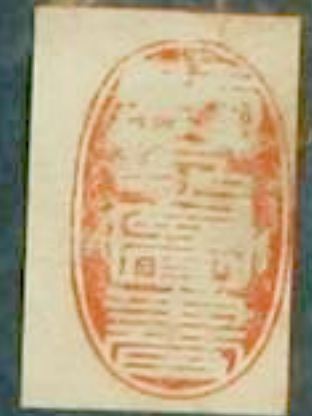


風俗考  
 五之卷



1622  
 54









第二 是地とりぬ女のき地づく

外面仙糸内心の修養れらま

多の福ふ公のぬとだまは懐中鏡

墨のさいを好座の方乃修バ馬

第三 其の白舞と靡と源氏解の白

宇治川の南のれ家に凱音の聲

公のいさじま約を来る使合れ時津風

流る川流をい信る方民の足踏ふれま

① 是の先の長は霞あぶる不吉なれ地

お佛堂く同じ玉雨のさいおは膝が孫子にうて。備後

権女と女房は持ちあうし。才一世母を成持とふらげ。後より

のる小跡く。百乃後よはまれば。一巻あよ一とい。まみげ

るぶて。ぬやりのいそぐ。まき。邪正をすま。まき。つひ

ぬれ。い。ぬ入て。ま。の。あ。ま。け。と。ま。と。ぬ。ゆ。ん。む。じ。さ。わ

別代ゆ。ぬ。い。は。ま。ら。れ。た。よ。う。て。身。と。持。て。ま。の。あ

よ。たり。真。ま。え。地。女。房。の。千。人。う。て。ま。り。の。ま。ま。さ。い。さ。つ

く。い。つ。て。ぬ。ら。い。も。義。と。ま。わ。る。ゆ。ん。り。地。女。と。ら。が。つ。さ。と

つ。い。こ。ん。な。お。ま。や。い。つ。め。し。お。ま。と。秘。す。す。い。づ。い。あ。い

る。と。よ。う。い。ひ。ど。真。女。の。方。と。被。つ。て。さ。い。切。て。我。さ。あ。ま

女房巻





























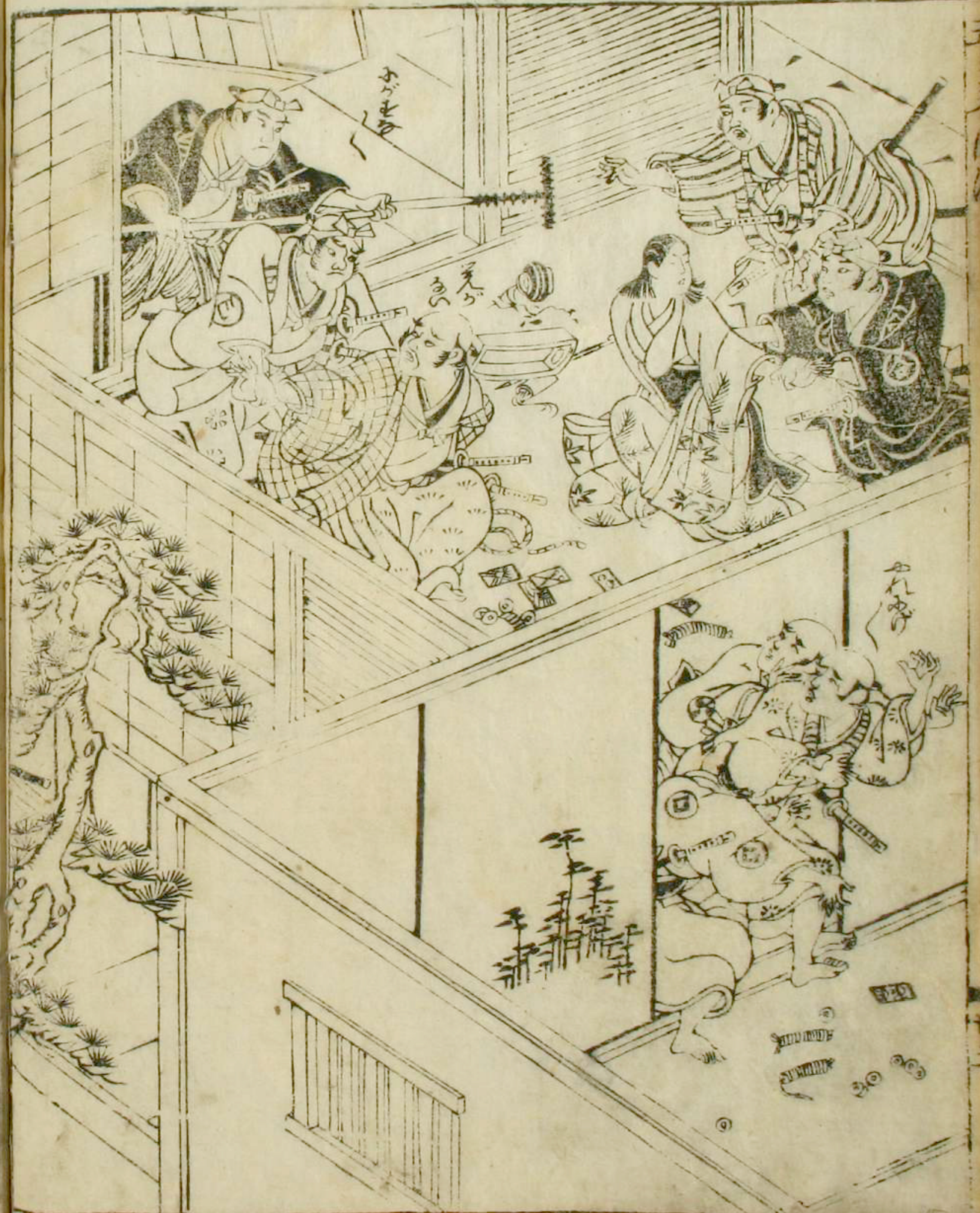




























女五常訓

一冊

婦人子弟

一冊

花笥百首

六冊

花笥物語

二冊

花笥物語

二冊

花笥物語

二冊

仁義礼智信の法を教へて、又徳の乃成女の足  
中をたやうにふもをなす、あまふちあふりて、あま  
あまふちあふりて、あまふちあふりて、あまふちあふりて

春の法をのりて、あまふちあふりて、あまふちあふりて、あまふちあふりて

百人一首のさまじき、あまふちあふりて、あまふちあふりて、あまふちあふりて

花笥物語一代の、あまふちあふりて、あまふちあふりて、あまふちあふりて

花笥物語、あまふちあふりて、あまふちあふりて、あまふちあふりて

花笥物語、あまふちあふりて、あまふちあふりて、あまふちあふりて

大坂書林

和泉屋卯吉

卯吉



